

# 修了生の活躍事例

企業実習付きコース

※) 令和4年3月時点

## ポリテクで人生変わりました！

前職は非製造業で、自らの手で製品を作り出す仕事とは全く無縁でした。有期雇用の派遣社員だったため、期間満了後にハローワークへ再就職先を探しに行きました。窓口で就職相談をしていたところ職業訓練を紹介され、ポリテク見学会を勧められました。

受講料が無料なのにもかかわらず、受験料不要で複数の資格取得できる訓練コースがあることを知りました。どのコースの資格も未知の世界でした。しかし唯一、フォークリフトは前職で見ていてイメージつきやすかったため、ものづくり機械科に応募しました。

## 企業実習は非常に有意義でした。

企業実習という制度は魅力的ですが、色々な不安もありました。コロナウィルスの影響で一部の訓練が休講となったこともあり、必要最小限な訓練受講となってしまいました。

そのような中、実習では会社の皆さんが優しく教えてくれました。溶接の条件がポリテクと異なるため、上手く接合できないことがありますが、色々アドバイスを頂きました。そして、実習後半になると、溶け込み不良が全く許されない製品を溶接するという、非常に神経を使う作業も行いました。そのような重要な箇所を任されたことが、とても自信につながりました。

縁あって実習先の会社に就職しました。職場環境、業務内容を事前に知ることができたので、企業実習というシステムはととてもよかったです。

## 就職先企業での活躍

### S. Sさんの業務

プレス加工された板材を、半自動溶接機で接合する組立が担当です。下向き溶接だけでなく、立向きや上向きの溶接も行います。最初の頃は腕がだるくなりましたが、最近ではコツを覚えて、楽な姿勢で溶接できるようになりました。人力で運搬できる様な小物を溶接することもありますし、天井クレーンを利用しないと運搬できない大物も溶接することもあります。玉掛け作業やクレーン運転は毎日行っています。溶接以外では、図面を見ながら材料の切り出しや穴あけ・タップ加工の手伝いも行っています。



### 上司の声

製造部 部長 東海林 義春 様

企業実習の時から担当をしていました。Sさんは非常に真面目で、前向きな姿勢で仕事に取り組んでいます。溶接の腕も上達してきました。

採用の際、鉄工所という男社会の中で会社に馴染めるか不安だという意見もありましたが、全く問題ありませんでした。



株式会社 村井鉄工所 (1年6か月在籍) ※)

S. Sさん (入社時20代)

[⇒前職：非製造業(派遣)]

ものづくり機械科  
(6か月訓練 企業実習付き)

令和2年 4月 入所  
令和2年 9月 修了



## 職業訓練を振り返ってみて。

初めて見る測定機器の使い方から、機械図面の見方、金属部品を加工する工作機械の操作、様々な溶接機を使用した接合、金属製品製造の現場で必要な資格等、非常に内容が濃い訓練でした。社会人になってからの勉強は新鮮でした。

科の全員が機械加工や溶接作業の未経験者という、同じ環境の仲間と一緒に訓練して、切磋琢磨できたことがとても有意義でした。

## 株式会社 村井鉄工所 (北海道上川郡当麻町)

### 現在ポリテクの修了生1名が活躍

建築金物等の金属製品を製造販売。レーザー加工機を使用した切り板は、短納期で対応可能。今年(令和3年)で創業50年を迎える。従業員数は14名。

約30年前から始めたユニットハウス(プレハブよりもローコストで高品質)の製造・販売は、ユニットハウスメーカーから一般客までと、取引先は幅広く展開している。

